

さっぽろ支部だより

2012年

北海道行政書士会札幌支部

第 **124** 号



contents

もくじ

| | |
|-------------------------|-----|
| 相続遺言セミナー報告 | 2 |
| 実務専門講座 仕業のマーケティング | 3 |
| 経営戦略講座 | 4 |
| HP活用法 | 5 |
| 会社関連実務 | 6 |
| 四大許認可コンプリート研修 | 7 |
| 事務所経営の成功事例 | 8~9 |
| 任意会へおじゃましま〜す | 10 |
| 札幌支部定時総会案内 | 11 |
| 事務局からの報告・編集後記 | 12 |

春の松前城

行政書士による「相続・遺言セミナー」開催

北海道行政書士会札幌支部では、地域の住民の方々に、行政書士及び行政書士制度の認知向上を目的として、3年ほど前から各地区の老人福祉センターで行政書士によるセミナーを開催しています。また今年度より10月の広報月間の訪問先にも加えております。

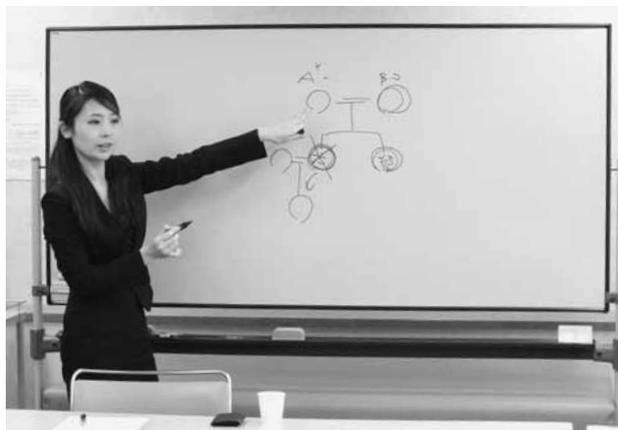
平成23年12月20日は札幌市清田老人福祉センターでは萩原麻代会員が、平成24年2月23日の札幌市南老人福祉センターにおいては広報月間で札幌市南老人福祉センターを訪問した長谷川征輝監察広報部長が講師となり、「相続・遺言セミナー」が開催されました。

セミナーの内容は、例題を参考にしながら相続及び遺産分割と遺言書等について、基礎知識を中心に説明が行われました。2月の場合は前日の2月22日が行政書士記念日でもあったため、セミナーを始める前

に、「行政書士」の社会に置ける役割や業務内容を紹介し、参加者の皆さんの理解を深めることができました。

参加された20～30名のほとんどが高齢者の方でしたが、用意された大きな文字とイラスト入りの相続関係説明図とレジュメを熱心に見比べ、ユーモアあふれる具体例に時折、笑い声が聞こえるなど、終始和やかに約1時間のセミナーが終了しました。

後半の無料相談会では、会場内にテーブルを用意し、相続・遺言に加え、成年後見等の相談6件に対応いたしました。また資料として、セミナー開催した各区の会員の氏名・事務所所在地・電話番号等を記載した紹介文書を参加者全員に配付いたしました。各区の会員の皆様、問い合わせ等がございましたら、ご対応の程よろしくお願いいたします



講師の萩原麻代会員



清田区の参加者の皆さん



長谷川征輝監察広報部長



南区の参加者の皆さん

実務専門講座 ①

「土業のマーケティング講座」

平成23年12月5日（月）と7日（水）の2日間に渡り、北海道行政書士会研修室において土業マーケティング講座が開催されました。

税理士法人中野会計事務所 代表社員
税理士 中野幸一氏に講師を務めていただ

き、顧客獲得のノウハウや、事務所経営に関する戦術等についてお教えいただきました。2日間に渡り参加された延べ20名の会員は、今後の業務運営に役立てることでしょう。

受講者の声

札幌支部 山田 英樹

12月5日、7日の「土業のマーケティング」講座に参加させていただき、中野先生と、あと鹿内先生のお話も少し伺うことができました。

中野先生は「おだやかなカリスマ」という印象を受け、そこが多くの人を引き付ける理由なのだろうと感じました。

「宣伝より紹介」という話は以前にも別の方からお聞きしたことがありましたが、それで実績をあげられている方の人となりを見ることができたのは貴重でした。

ビジネスではライバルを蹴落とすイメージも強いですが、お互いに得をする提携を主体にし、セミナーなど様々な出合いを駆使して縁を築いていくという方針は目からウロコでした。

中野先生と提携された土業の先生方の実例が、あまりに優秀で実績をあげられているばかりのようなので、雲の上の話のような印象も少々ありましたが、その基本方針を参考にさせていただきたいと思いました。「柳生家の家訓」も印象に残りました。

鹿内先生の、「宣伝は自分でせず、他の人にやらせよう」というお話も目からウロコでした。

ただ、別の研修で吉田先生も仰っていましたが、宣伝を手伝ってくれるその「他の人」をどう見つけるかが課題で、人脈の少ない現時点での私にはまだ難しい気も致しましたが、その戦略を実行することを一つの目標にしていきたいと思っております。

実務専門講座 ②

「セミナーを使った経営戦略講座」

平成23年12月12日（月）に、北海道行政書士会研修室において実務専門講座が開かれました。

今回は吉田充会員が講師となり、セミナーの準備から実践、開催後の具体的な行動や心構えなど、セミナーを活用した経営戦

略をきめ細かく説明されました。



受講者の声

札幌支部 軽部 諭

まずは講師の吉田先生、そして企画運営して下さった札幌支部の皆様、このような素晴らしい講座を開催して下さったことを感謝いたします。取りうる業務の方針や方法について、手持ちの選択肢を増やすことができた素晴らしい機会となりました。

行政書士となった昨年、HPや電話帳など、たまたまどこかで私の事務所を目にして下さった方が、たまたまご連絡を下さる、という仕事の取り方しかできず、能動的に業務を獲得するということに対応できないでいました。

その点、今回の研修はセミナーを使った経営戦略として、開催から業務の獲得へとつなげる考え方や、それに至る具体的なテクニック。実際にどのように考え、どのように動く

かという点まで、事細かにご教示していただくことができ、自分の業務獲得への考え方を大きく変えることができました。

また、お客様の視点から見て、私たちのどのような行為が信頼を与え、どのような行為で信頼を失うのか、という他者からの視点から見た行動についてまで、ご教示いただきました。これはセミナーに際する場合のみならず、行政書士としていかにあるべきか、という本質的な部分にもつながるものであり、今後私の芯となるような素晴らしいお言葉を頂けました。

自分が発展的な変化を遂げられるよう、今回学んだことを生かしていく所存です。

吉田先生、本当にありがとうございました。

実務専門講座 ③

「仕事を取るためのHP活用法」

平成23年12月14日（水）、北海道行政書士会館研修室において仕事を取るためのHP活用法講座が開催されました。

事務所経営関連の実務専門講座の最後の

講師を務めましたのは、工藤正幸会員です。行政書士が業務を獲得するためのホームページについて、その作業手順や作成意図等を詳しく説明した講義となりました。

受講者の声

札幌支部 原田 和子

平成23年12月14日開催の実務専門講座「行政書士が業務を獲得するためのホームページ活用法」を受講しました。ホームページ、ブログ、ツイッター、フェイスブックなど未経験のアナログ新米行政書士ですが、平成24年の3月末で兼業先を退職するため、その後はたっぷり時間があると思い、自分でホームページを作成できたらと考え参加を決めました。

ワークショップ形式のセミナーは、3人ずつのグループに分かれて、ホームページ作成のプロである札幌支部の工藤正幸先生のご指導のもと、ディスカッションや作業を行いました。

講義の内容としては、最初に「ウェブサイトを作ったのに見てもらえない理由」の具体例を教えていただき、まず検索エンジン最適化（SEO）対策としてどのようなタイトルやコンテンツ等が良いかをグループでディスカ

ッションし発表します。ワークショップ形式のため、同じグループの先生方の実際のホームページ作成方法や集客の工夫などを直接聴くことができたことも大変参考になりました。

続いて「見てはもらえていないが、問い合わせが来ない理由」を同じようにグループで考え、工藤先生からの確で有意義な情報をたくさん得ることができました。受講後は以前とは違った視点でホームページを見るようになりました。

工藤先生は「最新ウェブマーケティング研究会」を主宰されています。今回、年末の繁忙期のため、残念ながら参加できなかった先生方は一度任意会を見学されてはいかがでしょうか。毎月1回、北海道行政書士会館の研修室で開催しているそうです。経験豊富な講師にアドバイスを求めれば、きっと役立つアドバイスをしてくれるはずです。

実務専門講座 ④

「会社関連実務専門講座」

| | |
|-------------------|--|
| 第1回 会社設立関連業務 | 日時：平成24年1月16日（月）18時～21時 講師：山口 伸行 札幌支部会員 |
| 第2回 融資関連業務 | 日時：平成24年1月19日（木）18時～21時 講師：三井住友海上経営サポートセンター 経営リスクアドバイザー 富永 剛生 氏 同 センター長 小山 雅敬 氏 |
| 第3回 事業再編・合併・分割 | 日時：平成24年1月24日（火）18時～21時 講師：中川 智 札幌支部会員 |

平成24年1月16日・19日・24日の3回にわたり、北海道行政書士会館において、会社関連実務専門講座が開催されました。

以下に受講者の声を掲載いたします。

受講者の声

札幌支部 長野 源太

今回の研修会は法人の資金調達のお話と運送会社の経営改善についてでしたが、私自身が運送業関連を専門にしていることから、大変勉強になる内容でした。

資金調達や経営改善については、運送業界が不況である今、多数の会社が抱えている悩みであります。その中で、私自身も顧客に対する確かなアドバイスや情報の提示を行うことが必要であると日々感じておりました。

資金調達のお話では銀行から融資を受ける際の銀行の格付け方法や銀行独自の決算書の

見方など内部の方しか知らないような内容をご教示いただきました。ぜひ、今後の業務に活用させていただきたいと思います。

運送会社の経営改善についてのお話では、運送原価の分析方法や適正な給与体系など私自身も日々頭を悩ませていることだったので非常に参考になりました。

今後もこのような業務の参考になる研修があれば、積極的に参加させていただきたいと思います。

札幌支部 谷掛 力

1月24日北海道行政書士会館2階研修室において、税理士として活躍されている札幌支部会員の行政書士でもあり税理士、特定社会保険労務士、中小企業診断士の資格をお持ちの中川智先生による「事業再編・合併・分割」をテーマとした研修会が行われました。

今までに受講したことのない講師の先生の時や関心のあるテーマの時にはできる限り参加しようと思っていたので、今回のテーマは、以前にも事業再編のテーマで研修がありましたが、税理士の視点から見て事業

再編はどのように進めているのかが興味がありましたので参加しました。

講義は、事業再編・会社分割とは何かという基本的な話から、事業再編をどのようなスキームですすめるか、その際にどのような点に留意すべきか、その際に土業としてどの点を注意すべきかを説明していただきました。

今後行政書士としてどのようにこのような案件に関与すべきかの基本を学ぶことができました。

4大許認可コンプリート研修が開催されました

一昨年行われ好評だった「4大許認可コンプリート研修」が2年ぶりに復活！
今年も下記の通り開催されました。

| | | |
|------|-------------|----------------------|
| 2/4 | 建設業の基礎 | 講師：野口 哲郎 会員 参加人数：29名 |
| 2/11 | 運送業の基礎 | 講師：荒木 徹 会員 参加人数：26名 |
| 2/18 | 産業廃棄物処理業の基礎 | 講師：大沼 準 会員 参加人数：28名 |
| 2/25 | 風俗営業の基礎 | 講師：堀川 貴之 会員 参加人数：29名 |

(開催場所はいずれも北海道行政書士会館研修室)

延べ参加人数は112名となり、大勢の会員が熱心に研修に耳を傾けていました。



会場の様子



講師の荒木徹会員



講師の堀川貴之会員

受講者の声

札幌支部 村上 佳雅

2/4に札幌支部主催の実務専門講座・4大許認可コンプリート研修の一つ、「建設業基礎」が札幌支部の野口哲郎先生のご講義で、行政書士会館研修室にて行われました。

行政書士業務の代名詞の一つとも言える建設業の研修ということで、当日は多くの参加者で満席の状態での開催となりました。

講義は、午前中は建設業許可の総論的なお話と、手続きの流れについて、午後からは実際の申請書サンプルを参考に、実務においてはどうするのかという、より実践的な内容のお話がありました。

具体的な申請書の作成手順の説明や、講師

の野口先生の実体験に基づいた、貴重な情報も随所にちりばめられており、受講されておられた諸先生も、一言も聞き逃すまいと、一生懸命にメモを取られていました。

我々の様な、当該業務の実務経験の浅い者が知りたいのは、やはり一般的なマニュアルにはない実務の情報であり、その意味で今回の建設業基礎講座は、豊富な各種資料も含めて、今後の業務にすぐに活かせる内容であり、非常に勉強になりました。

あらためて、貴重な実務のテクニックを惜しげもなくお話いただいた、講師の野口先生に御礼を申し上げたいと思います。



事務所経営の成功事例

このコーナーでは、事務所経営の成功事例ということで、得意分野を確立して活躍されている会員の方々をご紹介します。今回は、あかり行政書士法人の会員にお話をお聞きしました。

Q：行政書士登録はいつですか？

A：平成18年3月20日 長谷川征輝
平成18年11月1日 野口 哲郎
平成3年5月14日 池西 勝幸（兼税理士）
法人の設立は平成23年4月1日です。

Q：メイン業務は何ですか？

A：メインがこれというものはありません。許認可（建設業、産廃、運送業、風俗、飲食店など）、法人設立、相続遺言、記帳会計、融資申請など幅広く対応しております。

Q：なぜ法人化したのですか？

A：池西と長谷川はグループとして平成22年4月から一緒に業務に当たっていたのですが、個人事務所同士から責任の所在を明確にし共有できる法人として、一層顧客の安心感を高めたいと思ったことがきっかけでした。そこで長谷川が、以前から仕事面での親交が深く、安心して共同で業務を遂行していける仲間である野口を誘い3人で法人をスタートしました。

Q：法人化したことによるメリットはどんなものがありますか？

A：複数の業務が重なったときでもこなせるということや、相談者の急な来所でも、職員ではなく本職の誰かはいれる可能性が高く、対応することが可能であるという点ですね。また、それぞれ得意分野があるので、顧客へのサービスの範囲が広がったというのも大きなメリットだと思っています。

Q：主な営業方法や新規開拓方法はどんな方法ですか？

A：顧客や知人、グループ他土業からの紹介。店舗・施設への広告・ポスター設置。地域新聞への広告出稿。異業種交流会参加。訪問営業。

Q：業務を行う上で心がけていることは何ですか？

A：お客様の要望を良くヒアリングした上で、業務内容の説明と費用の説明を最初の段階で行います。

特に費用については相談当初に明確にしておかないと後々トラブルに発展することが少なくないと思われるからです。次にお客さまから合意が得られれば、業務依頼書や契約書を交わします。書面にて費用や依頼内容を明確にしておけばお客さまも自分も安心ですよ。

それから、お客様とお話しする場合にはなるべく専門用語は避け、分かり易い言葉で説明するように心がけています。

Q：「やっぱり行政書士になってよかった！」と思えたエピソードなどがありましたら教えてください。

A：頼まれた書類をただ作成するのではなく、お客様の相談を聞き、相談に至る経緯・背景を理解した上で、こちらからより良い提案をして、実行したことにより、当初のお客様の想像以上の結果になったときのお客様からの感謝は何物にも代えがたいものがあります。

Q：それではOFFの顔についても少しだけお聞きしたいと思います。お休みの日には何をしていますか？

A：長谷川 …… 仕事

池西 …… 仕事

野口 …… 小学生の娘の遊び相手

お二人はOFFがないという感じですね(笑)

Q：最後に、ここ3年の間に開業した新人の行政書士さんへのメッセージをお願いします。

A：努力が必ず成功につながるわけではないと思いますが、成功した人は努力してきた人だと思います。さらに成功し続ける人は努力し続けている人だと思います。一緒に努力し続ける行政書士を目指しましょう！（長谷川）

特に開業1年未満の人は、業務経験が少ないため、仕事に自信が持てず、積極的に動けないというお話を聞きますが、誰でも最初はどんな業務でも初めてなのですから、依頼を受けてから一生懸命調べれば大丈夫です。まずは、たくさんの人と出会って、名刺をどんどん配り、自分の存在を知ってもらう努力を続けましょう。種を蒔き続けた人は、後で刈り取る時期がやってきます。諦めないで行動することが大切だと思います。（野口）

あかり行政書士法人の皆さん、
お忙しい中インタビューに答えてくださり、
ありがとうございました。



長谷川征輝会員 右 野口哲郎会員



任意会へおじゃましま〜す

+ 体験レポ：「突撃おじゃましま〜す」

北海道会の任意会を紹介する新コーナー「任意会へおじゃましま〜す」第3回目は「最新ウェブマーケティング研究会」です。代表の工藤正幸会員にお話を伺いました。

Q：発足はいつですか？

A：平成23年9月1日です。まだできたてホヤホヤの新しい任意会です。

Q：研修のテーマは何ですか？

A：テーマは「ネットを活用して行政書士業務を獲得する」という非常に幅広いテーマです。

Q：なぜそのような任意会を立ち上げたのかお聞かせください。

A：私が行政書士登録をしたのが平成17年2月で、同じ年の5月には北海道行政書士会の会報編集委員の委嘱をいただきました。その会務には2期4年携わらせていただいたのですが、その間、いろいろな先生方を取材させていただく機会に恵まれました。一方で、登録からさほど期間が経たずに廃業していく方々も見てきました。その中で長い間ご活躍の先生方にはある特徴があることに気付いたんです。それは「専門分野や

得意分野がある」ということです。そして、専門分野や得意分野と、時代の流れであるインターネットをうまく繋いで業務に活かせないかと考えました。それが「ウェブ研」を作ったきっかけです。

Q：現在のメンバーは何人ですか？ また会の目標などありましたら教えていただけますか？

A：メーリングリストに登録しているのは12名ほどです。札幌だけではなく近隣の支部の方も参加してくださっています。会の目標は大きいですよ(笑) ズバリ！メンバーの中から1000万円プレーヤーを輩出することです。ウェブマーケティングを活用して業務を獲得し、「行政書士」として1000万円を売り上げる、そして「“ウェブ研”に入っていてよかった」と思ってもらえたらうれしいですね。

「突撃おじゃましま〜す」のコーナー

恒例となりました「突撃」シリーズ！今回は「最新ウェブマーケティング研究会」に参加しました。

平成24年2月7日（火）17時30分より、北海道行政書士会館において研修会が開催されました。

今回は、ホームページ作成サービスの「ワードプレス」を使い、工藤代表が実際に操作をする様子をモニターに映しながら、講義を進めました。参加者の方も自分のパソコンを持ち込み、その場で一緒に自分のページを作成するなど、非常に実用的な内容でした。分からない部分は、その場で工藤代表に相談し、教えてもらうことが出来るのも魅力のひとつだと思います。



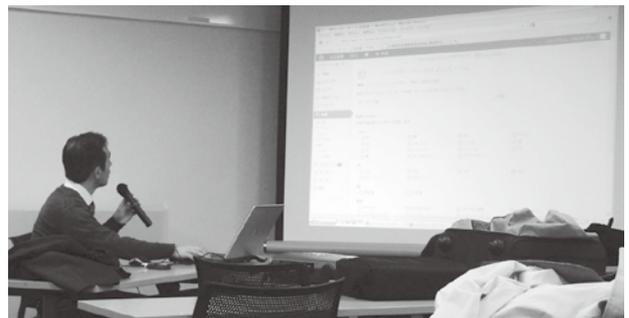
話はSEO（検索エンジン最適化）対策にも及び、具体例を挙げながらの分かりやすい説明に参加者の9名の表情も真剣で、1000万円プレーヤーを輩出するという工藤代表の意気込みを象徴するような、中身の濃い時間でした。

入会希望者は、

工藤代表：

050-3636-1161 / 090-3111-9020

kudo@sakura-legal.net まで。



お知らせ

会 員 各 位

北海道行政書士会札幌支部
支 部 長 宮 元 仁

平成24年度札幌支部定時総会の開催について

支部定時総会を下記の通り開催致しますので、ご多忙中の折とは存じますが、多数ご参集いただきますようご案内いたします。

なお、議案書は出欠ハガキを同封し、4月24日支部より発送予定です。

議案書への質疑・要望事項がございましたらその旨を、また併せてご出欠の有無をハガキにて4月27日（金）必着でご通知願います。

また、やむを得ずご欠席される方は、必ず委任状の提出をお願いいたします。

記

| | |
|----------|--|
| 会 場 | ホテルノースシティ (札幌市中央区南9条西1丁目 TEL512-3223) |
| 日 時 | 平成24年5月11日（金） |
| 総 会 | 14:00~16:30（金柔の間） |
| 政治連盟分会総会 | 16:30~17:00 |
| 懇 親 会 | 17:00~（藻岩の間） |

会場となるホテルは例年と異なりますのでお間違えのないようにお願いします。

出欠のご回答について

総会終了後、懇親会を開催する都合もございますので、委任状を含め4月27日（金）までに返信用ハガキにてご回答ください。

なお、懇親会は以下の要領で開催いたします。

| | |
|-----|------------------|
| 時 間 | 同日総会終了後 |
| 場 所 | ホテルノースシティ |
| 会 費 | 3,000円（超過分は支部負担） |

※出席としてご報告いただき、当日欠席された場合は、会費を頂戴いたします。

事務局からの報告

●入会しました

| (入会年月日) | (会員番号) | (氏名) | (事務所) |
|------------|--------|------|--------|
| 1.H23.11.1 | 5176 | 山田英樹 | 北・北区1 |
| 2.H23.11.1 | 5177 | 佐久間武 | 北・北区1 |
| 3.H23.11.1 | 5178 | 放生敏文 | 北・東区3 |
| 4.H23.11.1 | 5180 | 菊地慎一 | 南・厚別区 |
| 5.H23.12.1 | 5184 | 水嶋博司 | 北・北区3 |
| 6.H23.12.1 | 5186 | 大黒正雄 | 北・北区2 |
| 7.H24.1.1 | 5187 | 北條秋男 | 中・中央区4 |
| 8.H24.1.1 | 5188 | 十倉央 | 南・南区 |
| 9.H24.2.1 | 5193 | 武重雅昭 | 中・中央区2 |
| 10.H24.2.1 | 5195 | 澁田庸 | 中・中央区4 |

●退会しました

| (退会年月日) | (会員番号) | (氏名) | (事務所) |
|-----------------|--------|-------|--------|
| 1.H23.11.1 | 3534 | 伊藤裕 | 北・東区2 |
| 2.H23.11.4 | 2613 | 山内昭雄 | 中・中央区1 |
| 3.H23.11.7 | 2922 | 橋本利明 | 北・北区1 |
| 4.H23.11.14 | 3153 | 山田美智子 | 北・北区1 |
| 5.H23.10.12(死亡) | 2754 | 米田倶實 | 北・東区3 |
| 6.H22.12.31(死亡) | 1489 | 米田正 | 北・東区1 |
| 7.H23.12.5 | 4242 | 本間勝雄 | 中・西区1 |
| 8.H23.12.9 | 4411 | 齋藤文昭 | 北・北区1 |
| 9.H23.12.26 | 4589 | 木村智宏 | 南・北広島区 |
| 10.H23.12.31 | 2400 | 河内健 | 東・豊平区1 |

編集後記

「一年が経った。あの日を境に人生が一変した人はなんと多いのだろう。これまで「あたりまえ」と思っていたものを一瞬にして失ったときの喪失感、経験した者でなければ言葉にはできない。生きていることのありがたさを忘れることなく、今を大切に生きようと思う。」

これは、この支部だよりと一緒に発送されている北海道行政書士会発行「行政書士ほっかいどう」の編集後記で私が書いた文章だ。時間が経ってからあらためて読むとちょっと恥ずかしい。しかし、どれほど時間が経っても癒せない心の傷がある。

この原稿を書いている時点で、朝日新聞 朝刊には東日本大震災で被災された方々の声が「千人の声」として毎日掲載されている。津波で妻と子供を失った一人の男性はこう語っていた。

「一人の仮設に帰るのが寂しくて、犬を飼った。契約を続けている（行方不明の娘）の携帯を鳴らし、留守番電話に伝えてしまう。「会いたい」と。」
(朝日新聞 平成24年2月21日 朝刊)

同じく妻子を失った別の男性は『働かないと不安なんだな。でも何のために稼いでんのか分かんね。お疲れさま、ご苦労さんって、ひとりの仮設じゃ誰も迎えてくれねえから。俺は、愛する誰かのために生きてえ』と語った。(朝日新聞 平成24年2月21日 朝刊)

私は考えてみた。自分が今置かれている環境をあたりまえのものとは見てはいないか。感謝の気持ちを忘れてないか。自分の家族や友人、仕事や仕事仲間に対して感謝の気持ちを出して伝えているだろうか。悔いのないよう一所懸命生きているだろうか。そんなことを考えた一年だった。

さて、これが平成23年度最後の編集後記となります。一年間ありがとうございました。平成24年度も良い会報をお届けできるよう、支部だより発行チームは少ない予算の中(笑)、いま生きていられることに感謝し、一所懸命がんばります!

(編集長 工藤)

札幌支部だより 北海道行政書士会札幌支部 第124号 2012年3月26日発行

発行人 宮元 仁 編集人 長谷川征輝
発行所 北海道行政書士会札幌支部
札幌市中央区北1条西8丁目
丸二羽柴ビル4F
TEL (011) 271-0773
FAX (011) 271-6126
gyoseisapporo@mti.biglobe.ne.jp

印刷所 社会福祉法人 北海道リハビリ—
北広島市西の里507番地の1
TEL (011) 375-2116
E-mail:rihabiri@selp.net
頒 価 500円(送料込)

ホームページ <http://gyosei.s93.xrea.com>
ブログ <http://gyoseisapporo.blog113.fc2.com>